

## 校内研究計画

### 1 研究主題について

読解力を身に付け、自ら学ぼうとする子どもの育成

～RSの視点を大切にした授業づくりを通して～

<昨年度の反省から>

- ・学習の土台づくりとして取り組んだ「学習用具の準備」「姿勢」などについては、改善傾向が見られるが、まだまだ十分とはいえず、継続した指導が必要である。
- ・算数科の学習用語を教室に掲示したことにより、話す・書く等の表現の際に用語をつかうことができる児童が増えた。
- ・板書の方法をそろえたことで、4月から子どもたちが戸惑うことなく授業に臨めることが期待できる。
- ・授業研究では、毎回提案性のある授業を提供していただき、学びの多い協議を行うことができた。
- ・リーディングスキルの視点を取り入れながら、問題文の読み方を理解させ、線を引きながら解こうとする子どもを次年度も育てていきたい。

### 2 研究内容について

- ◎ 教師が、RSの視点で教科書を読み、指導に生かす。
  - ・一文が長く、文の構造を捉えにくい文章を明らかにしておく。【係り受け解析】
  - ・子どもたちが教科書の文章を音読する際に、つまづく語句はないかを確認する。  
【係り受け解析】
  - ・省略されている主語や目的語を明らかにしておく。【照応解決】
  - ・教科書に掲載されている図やグラフ等が、どの文章と対応しているか明らかにしておく。【イメージ同定】

### 3 研究方法について

- 毎月の校内研修の時間に、それぞれの実践について紹介し合い、成果や課題を共有し合う。(まずは、国語科と算数科を中心に取り組むが、別教科の実践でも可)
- RSの視点を取り入れた授業づくりについて、全体で取り組みたい実践ができた場合は、夏季休業中に準備をして2学期から取り組む。

#### 4 今年度の計画

月日	内容(予定)
4月 7日	研究推進委員会
4月26日	今年度の研究主題、取組内容について RS の視点を取り入れた実践について報告(研究主任)
5月10日	学力向上プランの作成・学力向上の取組について
6月14日	RS の視点を取り入れた実践についての情報交換会①
7月20日	RS の視点を取り入れた実践についての情報交換会② 今後の研究について
8月	(2学期の取組について準備を進める)
9月13日	学力向上プランの実施・到達状況の確認
10月25日	RS の視点を取り入れた実践についての情報交換会③
11月 8日	RS の視点を取り入れた実践についての情報交換会④
12月13日	RS の視点を取り入れた実践についての情報交換会⑤
12月22日	学力向上プランの実施・到達状況の確認
1月24日	RS の視点を取り入れた実践についての情報交換会⑥
2月14日	RS の視点を取り入れた実践についてのふり返り
3月 6日	学力向上プランの実施・到達状況の確認 CRT 検査結果について
3月25日	研究のまとめ

\*出張報告は、校内研修の時間に随時行う。(資料配布・報告をし、紀要等は回覧する)